

2023 年春学期語学留学/RMIT 大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで紹介されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

教科書は使用せずにパソコンを使って授業をすすめていく形でした。

授業内容は文法を学び、その文法を使ってペアワークをする授業が多かった。

一日の授業でリスニング、ライティング、スピーキング、文法をした。基本的にパソコンの教材を使用し、ペアや班ワークで話し合ったりしながらの授業が多かった。

友達同士でディスカッションをしてそのあと先生が説明するといったような形式だった。

ディスカッションメインで基本分かった人から答えていく

まずは自分で考えて、その後グループで意見を交換、クラスで発表というのが基本。先生が授業を作るのではなく、学生が自ら作っていく形。

主にプロジェクターにパワーポイントを写して授業を進め、問題が出たときはプロジェクターに書き込むか各自のパソコンに打ち込む、またはその場で会話をしコミュニケーションをとった。また毎授業に最低一回は発音を練習したり、リスニングをしたりなどもした。

各学生パソコンを用意して大学側が準備した学習プログラムを個人やペアワーク、グループワークで取り組んだ。

学生がよく発言するようになっていく授業でした。1限目はグループワークが多く、2限目は問題を解く時間が多かった。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

クラスは4人で外大生2人とコロンビア人1人途中から中国人1人入ってきました。

5:5、17人、コロンビア、中国、ベトナム、サウジアラビア、ラオス

18(日本6)中国、ラオス、ベトナム、サウジアラビア、カンボジア、コロンビア

16人程度 日本人5人、サウジアラビア人6人、韓国人2人、コロンビア人1人、台湾人1人、タイ人1人

クラスの人数は全員で16人。日本人6/16でアジアの方が半分以上を占めていました。

クラス人数16人、日本人5人、サウジアラビア、タイ、韓国、コロンビア

私のクラスは人数がかなり少なく私含め日本人2人、コロンビア人1人、中国人1人の少人数クラスだった。

クラス全体は15人くらいで日本人は7人その他外国人留学生の割合。中国やベトナム、コロンビア、サウジアラビアなど主に東南アジア圏や南米から来た留学生が多かった。

クラス人数15人日本人5人、韓国人2人、台湾人1人、タイ人1人、サウジアラビア人6人

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

発言する機会がとても多かったです。クラスの人数が少なかったので必ず全員が意見を述べる機会がありました。また、グループワークペアワークが必ずありました。また毎週金曜日ほとんど先生とクラスメイトでシティに出ました。海外のクラスメイトの方が積極的に発言していました。

授業に対してとても積極的で、助け合いや発言を多くすることができたので、明るい雰囲気で授業ができた

積極的な発言が多かった。また、わからないことがあったらすぐにその場で先生を読んで質問していた。遅刻が多かった。

個人の考えなどがたくさん飛び交っていてにぎやかな雰囲気だった。とても発言しやすい環境だったと思う。

クラスに対して積極的な人が多く、英語のアウトプットがともしやすかったです。
とても賑やか。日本と大きく違うと感じたところは、自分の答えに自信がなくても、とにかく発言する。わからないことがあったら、その時にすぐに聞く。授業内で、見習うべき点がたくさん見つかった。
積極的に先生が各学生に話題を振って会話が多かった。
学生も先生も常に楽しく明るい雰囲気です。
学生がよく発言していたり、分からないことがあればすぐに分かるまで先生に聞いていた。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。
色々な国の人気な職業
ココシャネル
環境問題について
国の特徴や、世界的有名な会社、そして、環境まで幅広くトピックを扱い興味関心が湧くようなものが多かったです。
各学生の観光地について紹介する内容。
2人1組で行う世界の有名人を紹介するプレゼンでペアの子と協力してスライドや原稿を考えて上手く発表できたこと。
リサイクルのトピックが一番印象に残っています。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。
わかる範囲のことは積極的に意見を述べていました。
日本人が多いクラスだったので、なるべく外国人とペアになるように席を選んだ
ペアワークは他国の人とペアになってやるように心がけていた。
shy精神を捨てて、積極的に発言することを心掛けた。
外国の方はとても授業に前向きで消極的な我々日本人がそれに追いつけるように必死に食らいたくように授業にしがみつきました。
とりあえず喋って言葉にした。間違っていた場合は先生が教えてくれたのでとりあえず喋った。
授業中は積極的な発言や意見が求められるため、間違ってもいいので自分の意志をしっかりと伝えることを頑張った。
グループワークでできるだけ自分の意見を発言するように努力していた。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの人でしたか。	通学手段	通学時間
1人	日本人	電車	45-60分
2人	日本人、中国人	バス	45-60分
1人	台湾	電車	45-60分
0人		電車	45-60分
2人	日本人が2人	電車	60-75分
2人	香港、ベトナム	電車	45-60分
3人	中国、モンゴル、タイのハウスメイト	電車	30-45分
0人		その他	45-60分
0人		その他	15-30分

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
ベッド クローゼット ゴミ箱 ハンガー 机 いす 棚 ヒーター	シャンプー リンス 洗顔類 歯ブラシ、歯磨き粉 タオル 変換プラグ ドライヤー スリッパ、折りたたみ傘
勉強机、椅子、ベッド、延長コード	変換プラグ、ティッシュ
ベッド 机、いす ハンガー	シャンプー トリートメント
机、椅子、クローゼット、全身鏡、ハンガー、ドライヤー	洗面用具、洗濯洗剤、生理用品
基本生活に必要なもの全て揃っていました	日本食や、日本のコンセント変換プラグ等
ベッド、衣服棚、勉強机、ハンガー、ライト、ブランケット	コンセント、シャワー類、スキンケア、服、
ベッド、机や鏡付きの物入れ。	洗濯用品、服、洗顔料やシャンプー。
机、ベッド、クローゼット、スタンドライトなど	充電器類、洗剤類(シャンプー、洗濯用洗剤など)
ベッド、机、勉強道具(ペンなど)、ハンガー、床暖房のようなもの	ドライヤー、タオル、洗剤、柔軟剤

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。
毎日家族みんなでドラマを見る時間があつたこと。
人がいない時はドアを開けばなし、風呂の時間は5分、玄関の二重ドア
風呂の時間が限られている ファミリーが寝る時間が早い
洗濯の頻度の少なさ、水に対する考え方
シャワーにタイムリミットがある(10分)
土足、湯船がない、シャワーや水道の音がうるさい、水や電気がとても貴重、洗濯の頻度が少ない、
お風呂の時間や2階のトイレの使用時間が決まっていたが、特別日本と変わったことはなかった。
シャワーの時間(1人役10分)、洗濯の回数(1週間に2回)、物価(日本より高い)
シャワーの温度調整が難しかったこと。

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。
わからないことやこまったことはなんでも聞くべきです
最初に好きなもの嫌いな食べ物はきちんと伝えて生活する上でわからないことや聞いておきたいことがあれば遠慮せず全部聞いておくことと悩むことなく過ごせると思う
その場でのルールをか必ず守る、わからないことがあつたら聞く、ホストファミリーと過ごす時間を大切にする
体温管理がしやすい服や毛布には、投資するのもいいと思います
その家のご飯が合わなかったり、日本食が恋しくなるので、レトルトの味噌汁などを持っていく。
ハウスメイトにして欲しくないことを聞いて自分も言うこと。
ホームステイ先の家族としっかりコミュニケーションをとることで何か要望があつた時など自分のことを理解してくれやすい。
ホストファミリーとたくさんコミュニケーションを取ることで仲が深まり緊張がなくなるので楽しく快適に過ごせると思います。

パソコンは持参しましたか。	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい	日本からSIMカードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本からSIMカードを持参	LAN ケーブル/ワイヤレス共に可能	いいえ

はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	はい
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブルで可能	いいえ

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア /サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
学校のイベント、散歩、勉強、遊び、旅行	図書館、ブレイルーム
大学で市内観光やスポーツ交流などのイベントに参加 スポーツ交流はバスケットやアイススケート、ボルダリングなどがあつた	ホットポット(中華)の店によく行つた 様々な国の料理屋があり大学の仲間といろいろな国の料理を食べ歩いた。クラスメイトの出身国の料理をたくさん紹介してもらつた。また学内に playground があつてそこで他クラスの学生とも交流ができた。
学校のアクティビティに参加してあつました	私が住んであつた地域ではカフェが多く色んなところに行きコーヒーを楽しみました
Eureka Skydeck 88 ツアー、バスケットイベント、アイススケート	図書館、カフェ、モール
バスケットボールのプログラムに参加した。	学校横のセブンイレブンは毎日休み時間に行つてあつた。
大学側が主催する大学周りの観光地を訪れるイベントでいろいろな国の子と交流できて良い経験になつた。	カフェをよく利用した。あと大学近くの無料で利用できる州立の図書館は静かでコンピューター類も好きに使え非常に良かった。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
単語の暗記、リスニング勉強、文法の復習
ファミリーと連絡をとり必要なもの貸してもらえものを聞きなるべく荷物をへらせるようにした
英単語の量の増加、日常会話の勉強、オーストラリアで有名な曲を聴く、文化について知る、タイピング練習
店で頼む際の定型文を覚えたり、メルボルンの街並みやメルボルンではいけないことなどを調べた。
英語の勉強(文法やリスニングの練習)
語彙力を上げるためにできるだけ単語を覚えていきました。

留学前にしておけばよかったと思う準備
簡単な会話表現、単語が案外出てこなかつたのもっと復習しておけば良かったと思つました。日本の文化や行事についてよく聞かれるのもっと詳しく知っておけば良かったと思つました。
留学先国の特徴や文化を調べていけば良かった。理由は、日本と違うことが多々あつたので、その度にギャップに悩まされたから。
現地について調べる。大学外のイベントに参加したが知つたのが遅かつたため参加する時間が限られた。
オーストラリアとイギリスの関係性についてもっと勉強しておくべきだつた。
どの場面でも使える定型文を覚える。
留学前に事前にホームステイ先のメールアドレスが教えられるのでそこで軽い挨拶と持ってきた方がいいものなど先に伝えておけば困る事も少なかつた。

たと思う。
もっと単語を覚えていきたくったと思いました。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
日本のお菓子やせんべい喜ばれました。ハンカチも喜んでくれました。
役に立ったもの: 文法書、単語帳 / 喜ばれたもの: お菓子、文房具、日本円(外国人は日本円を見たことがないので興味を示してきた)
インスタントの日本食 ブラックサンダー
日本食、日本製のボールペン、ヘアオイル、ダウンジャケット
折り紙やメイドインジャパンの製品は喜んでくれた。味噌汁の粉は個人的に持ってきてよかった。
変換プラグ、抹茶系など日本特有のお土産はとても喜んでいただけた。
味噌汁、ごはん、ホストマザーに日本のお菓子をプレゼントすると喜ばれました。

日本から持っていく必要のなかったもの	日本から持参すればよかったと思ったもの
洗剤、ハンガー、沢山の日本食。日本食は高いけどどこにでも売ってました	爪切り、ティッシュ、
ハンガー、洗濯バサミ	パンツ、靴下を余分に。
単語帳。基本的な単語を覚えているのなら文法書のほうが良い。	ボディクリーム(空気の乾燥がすごい 現地でも買えるが高いので持って行って良いと思う)
日本製品が良いなどのこだわりが無い限り服や洗剤類は現地調達でもいけるし、洗剤類は気圧で漏れることもあるため持っていく必要はないと感じた。	電子辞書(基本授業中は携帯の使用は禁止のため)
洗剤、柔軟剤、ドライヤー、タオル、たくさん服	もう少し日本食をもっていけばよかった。(買うと高いから)

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくぐらい準備しましたか。
クレジットカード、現金	クレジットカード上限30万 現金3万円
現金は、2万円を両替して、あとは、クレジットカードを2枚	現金 20万、クレジット上限 40万と、20万
クレカ(1枚)と現金	クレカ上限 30万 現金 13万
クレジットカード1枚、現金	クレジットカード月10万、現金7万
クレジットカードで基本事足りず	クレジットカード上限 45万を2枚
現金、クレジットカード2枚。	現金 300ドル、上限 10万と 30万のクレジットカード。
現金、クレジットカードのみ	現金5万、クレジットカード上限 30万
日本でアルバイトしていた頃から貯金をしていた。1枚クレジットカードを新しく作った。	現金4万円、クレジットカード10万円が上限の物を2枚

現地で支払った住居費と食費を教えてください。
食費3~4万
住居費 0円、食費 7~9万円

平日1000円弱、休日2500円
大体一食分 2000 円～3000 円かかります
食費は外食したら20～50ドルくらい。

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。
テキストはなかったです。通学費は1ヶ月約1万円
テキスト代 0 円、交通費 3 万円程度
5 万くらい
テキストは使用しなかった 通学費は最初にまとめて購入したので4万円弱
1ヶ月 2.5 万円くらいです
通学費は一ヶ月定期券が 17,000 円くらい。
テキストはパソコンの大学側のサイトの学習プログラムを行うためなかった。通学費は路面電車を利用して2か月半で約3万。
テキスト代なし、定期代月1万5000円ほど

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。
約2～3万円
旅行 5 万、衣服 1 万 5 千円、娯楽 3 万
8 万くらい
月 3-5 万円
15 万くらい。
お土産約 3 万、娯楽(映画、観光など)に 2 か月半で約 8 万など
6 万円ほど

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析
リスニング力が特に上がったと思う
ファミリーやファミリーに日常生活で使える表現を教えてもらったので、表現の幅が広がった。また、学外の交流イベントに個人的に参加したことで人見知りするタイプだったが自分からコミュニケーションをとれるようになったのは大きいとおもう。
留学初日に比べると語学力はかなり伸ばすことができたと思う。毎日のホストマザーとの会話を通してリスニング特に伸ばすことができた。また失敗を恐れずに誰とでもコミュニケーションをとることができた。
全く喋らなかつた英語、基本的英会話までできるようになりました。まだペラペラまでとはいかないですが、もっとこれからも頑張っていきたいです
格段に上がったわけではないが、質問や回答がすらすらと出てくるが増えた。
語学力: 基本的な文法の授業が多かったが単語やネイティブが扱う表現なども色々知れて身につくことが出来たと思う。コミュニケーション: 学生のみんな伝え方や表現がわからなくても伝えようとする意志がとてもあったのでミスを恐れず会話しようとする意欲を持つことが出来たし留学前よりも自分から話すことが増えた。
最初はすぐに会話が終わったりしていたけれど、時間がたつにつれてたくさん会話ができるようになった。

留学前の目標とその達成度

留学前の目標は、英語で会話することだったので、満足いくらい達成できた

自分はリスニングとスピーキングがすごく苦手だったので特にそこを伸ばしたいと思っていた。この留学の中でリスニングが一番伸びたと感じた。スピーキングはなかなか伝えたいことが伝わらない苦しさもあったが、いろんな表現やスラングを教えてもらい、表現の幅が広がったことで、英語での会話をより楽しめるようになった。

shy 精神を捨てて積極的に行動することが目標であったため、初めのオリエンテーションの時から積極的にほかの留学生に話しかけ、結果的にたくさんの友達を作ることができた。

できるだけ、外国人とコミュニティを作るようにしました。勇気や吸収力も必要ですが、努力を怠らないことが1番大事だと思います

とりえず英語を喋り、失敗をする。英語を喋ることは多くできたが、同じ失敗や言い間違えをしてしまうことがあったので70%くらいだと思う。

留学前の目標は英語力の向上を目指して授業に取り組んだが実際に英語の表現や単語を身につけることが出来てよかった。しかしまだまだ上手く伝えられない場面もあったので達成度的には60%くらい。

留学を通しての成長ポイント

人間観察力と積極性/ まず、海外に行くと、異なる文化ばかりなので、日本にいる時より生活の細かいところに目がいきます。そこで、現地の人が行っていることや、禁止していることだったり、場面ごとに使うフレーズを覚えることができ、自分の成長につながったと思う。さらに積極性は、自分から行かないと何も起こらないのが外国なので、とにかく「この人とはまた会うことはない」と言い聞かせて、積極的に話しかけに行った。

1番身についたと感じたのはリスニング能力 テストの結果にもしっかり出ていたし相手からの質問が理解できるようになりより会話もできるようになった

何事もポジティブに考えられるようになった。積極性が身についた

ほんとに行動力が段違いで成長しました。自分のできることの範囲も増えとても良いことばかりです

少しは抵抗なく喋りかけることができるようになった。英語に対するモチベーションの向上。

最も成長したと思うところは自分から話す意欲を大きく持つことが出来たところ。もともと自分から積極的にいくタイプでもなかったが、留学を通じて会話することの楽しさやミスを怖がらず自分の意志や気持ちを伝えることの大切さを身につけることが出来た。

自分から話しかけたり、分からないことは携帯で調べるのではなく聞いたりできるようになった。たくさんの人とコミュニケーションが取れるようになったこと。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

最初から最後までポジティブでワクワクした気持ちで日々を過ごすことができた。残り1ヶ月になったときは、帰国日が近づいていることを実感して落ち込む日があった。

私は、これをきっかけに来年ワーキングホリデーに行くつもりです。今でしかできないことだと思い毎日頑張りたいと思っています。

留学前、留学中のどちらもモチベーションはあったが終わった後の方が上がった気がする。

留学前:会話表現の文法を覚えるのに頑張っていた。留学中:大学側からの課題もありより一層勉強を頑張った。留学後:もっと英語を話せるようになりたいと思った。

留学前は英語ができるか不安で仕方なかった。/ 留学中は話すことが楽しくなって英語の勉強が楽しかった。/ 留学後はもっと話せるようになるために勉強をしようと思った。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

帰る手段がなくなったので、家まで3時間歩いたとき

留学生との交流の場で、日本人から離れてほかの留学生の子に自ら話しかけに行ったこと。

テスト期間です。毎日深夜まで勉強しました。

寝過ぎてスマホの充電も無くなった時に、その場にいた青年に帰り方教えてもらった時。

プレゼンの発表でペアの子とスライドなど聞き手に理解しやすいように工夫したり原稿を1週間前くらいから覚え上手く発表できたこと。

Speaking のテストです。話すことが苦手なのでとても緊張しましたが何日もクラスメイトと話したり、勇気づけられたので100%の力を振り絞ってテストに臨めたと思います。

留学先大学の良かった点

アクセスが良い

先生がとても親切で優しくかったです。担当の先生以外もとてもフレンドリーで面白かったです。キャンパスが駅から近くてちょうどいい距離でした。

朝始まる時間は早かったがその分終わる時間も早くなるので、放課後クラスメイトとの交流の時間がたくさんあったのはよかった。また、学内の playground で他クラスの人や他学部の人と卓球をしたり UNO をして交流できる場があったのはよかった。先生方も課題などに細かくアドバイスをくれ、しっかりサポートしてくれた。

留学生向けのイベントがたくさんあった。

先生が全員優しくかったです

先生がとてもフレンドリーだった。友達のように色々教えてくれた。

先生達がとても親切で授業を楽しみやすい雰囲気になるよう努めてくれ、分からない表現があれば丁寧に親身になって教えてくれた。